

# JR四国労組 自動車支部 ニュース

2022年9月7日 (No.1)

発行責任者/大谷 清

編集責任者/中村 鉄平

## 第39回定期大会開催!

JR四国労組自動車支部は、9月6日、香川県宇多津町「ホテルアネシス瀬戸大橋」にて『自動車支部第39回定期大会』を開催し、四国各地から総勢35名が参集した。なお、新型コロナウイルス感染症対策として、代議員と一部の来賓・傍聴者に限定し、会場においては検温・マスク着用の徹底、社会的距離の確保などを徹底した。

冒頭、自動車支部を代表して挨拶に立った上田執行委員長は、コロナ禍における「安全・安心輸送」の取り組みに敬意を表したうえで、「利用が少しずつ回復する中、責任組合として健全で安定した労使関係を構築し、反転攻勢に取り組まなければならない。一方、経営改善も労働条件改善も大きな事故を起こしてしまえば元も子もない。引き続き組合員一人ひとりの意識を高めながら、安全を第一義とした取り組みを要請する」として、安全、組織、労働条件改善に向けた決意を語った。

来賓のジェイアール四国バス・高須賀代表取締役社長から挨拶を受け、組合員に対し、この間の取り組みに謝意が示されるとともに、足もとの経営状況に触れ「厳しい状況が続くが、悲観ばかりしてられない。コロナ前に戻らなくともやれることはある。『企業は人』であり、健全な労使関係のもと、コミュニケーションを図りつつ、信頼関係を築き、是々非々の議論を通じて、ともに歩んでいきたい」と述べた。

### 【来賓の皆様】



左から、ジェイアール四国バス(株)代表取締役社長 高須賀浩様、交運共済四国事業本部長 浅岡秀幸様、JR 連合産業政策局長 森安祐貴様、JR 連合自動車連絡会代表幹事 矢田尊弘様、JR 四国労組 大谷清執行委員長



2022 年度自動車支部執行部

議事では、高松分会の松本議長の進行により、執行部から経過報告、会計報告・監査報告、2022年度活動方針(案)、予算(案)が提起され、本部による新提言と交運共済の契約移転に関する補足説明の後、8名の代議員から質疑を受け、執行部答弁を経て、満場一致で全ての議案が承認された。

最後に、自動車支部が一致団結してこの難局を乗り切るべく、上田執行委員長の「団結ガンバロー」で閉会した。

以上